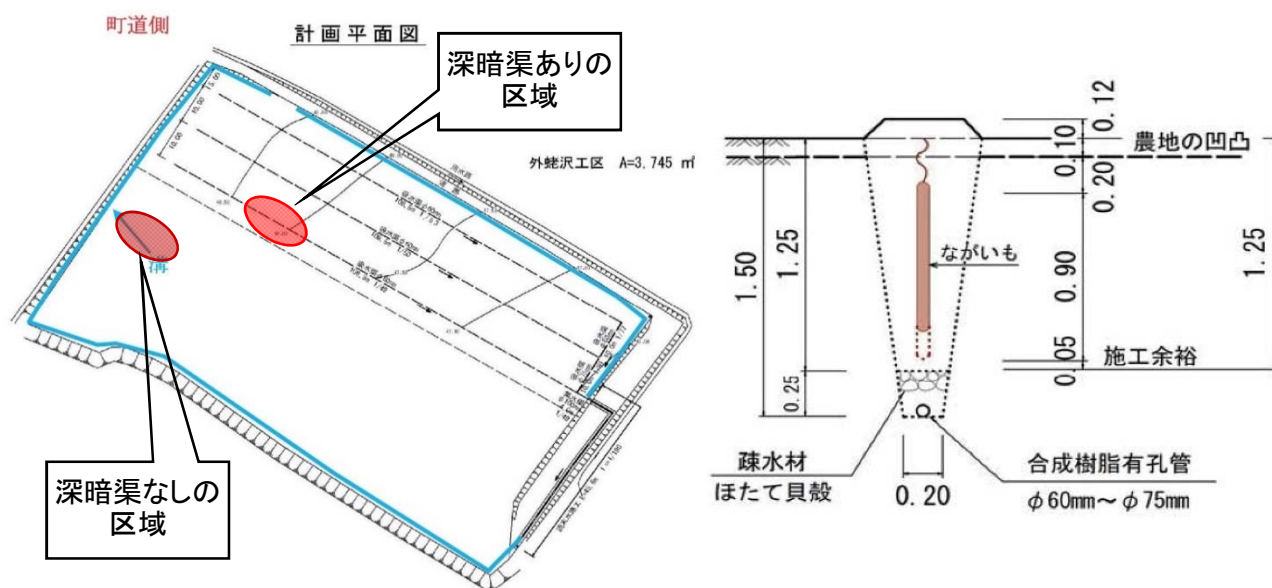


1 排水改良の必要性

農作物の湿害は、地表水がほ場内に停滞することや、地下水面が高いこと、地中に難透水性の土層が存在して、降雨時に一時的に滞水が生ずることなどが原因で発生します。

湿害対策には、排水改良により地表水や地中過剰水を速やかに排水することが有効であり、本県でも平成28年度の台風の長雨等により、ながいもの根部腐敗などの湿害が広く発生しましたが、県が平成25年度に試験的に「深暗渠」を設置した畑では、暗渠無しの畑と比較して被害が軽減されていることが確認されています。（下写真参照）

試験ほ場の平面図及び深暗渠の断面図



深暗渠ありの区域

30本のうち湿害を受けたながいも1本



深暗渠なしの区域

30本のうち湿害を受けたながいも6本